

ふるさとふれあい学習について

下吉田第一小学校では、郷土に関する学習を「ふるさとふれあい学習」と言います。「ふるさとふれあい学習」は、児童自身が将来豊かに生きていくためのヒントや児童自身が生活していくまちづくりのヒントなるように、自分が生まれ育った山梨県や富士山のふもとの歴史、自然、人物、産業の今を学びます。



【地元の専門家から学ぶ】

富士山と太陽で有名な櫻井孝美画伯をお招きし、絵の描き方を教えていただきました。校庭からの富士山の絵をみんな上手に描く事ができました。「1年生 図工 わたしのすきなふじ山より」他にやぶさめ祭りの由来、戦国時代の下吉田などその道の専門家を招いて授業を展開しています。

【本物にふれる実物に学習】

遠足では実際に出かけて、本物に触れながら地域の学習を行います。富士吉田の下の大地も溶岩であることを学びました。防災学習の基礎になっています。「3、4年 郷土学習 花の都内溶岩洞窟にて」この他に新倉掘り抜き見学や下吉田の町見学など積極的に実施しています。



【地元の人々とのふれあい】

地域の方々との温かい交流は、郷土愛を育む礎になっています。洋菓子のTORAYAさんにて、生クリームをしぼる体験をさせていただいた後に、おいしいケーキをいただきました。「2年生 生活科 大好きいっぱい私の町」他に下吉田の町の活性化に取り組んでいる方からお話をうかがうなどの取り組みをしています。

【地元の最先端を学ぶ】

地元の産業の良さについても学びます。光沢のすばらしさを評価され世界にも進出している甲斐絹のことで知り、驚いていました。「4年生 甲斐絹の織物」 この他に、一方的に資源を安く買いたたくのではなく、現地と win-win の関係を築いてアフリカのザンビアに進出している宝石研磨技術についての授業や卒業式に向けて人気の高いコサージュづくりなども行っています。

